

予 算 の 概 要

1 業務の予定量

・給 水 戸 数	341,000 戸	前年度比	+	2,000 戸	+0.6%
・年 間 配 水 量	92,780,000 m ³	前年度比	△	956,000 m ³	△1.0%
・年 間 給 水 量	87,770,000 m ³	前年度比	△	904,000 m ³	△1.0%
・有 収 率	94.6 %	前年度比		0.0 P	

2 予算規模及び予算の概要

(1) 総事業費

(単位:千円)

令和7年度 A	令和6年度 B	前年度比	
		A-B	A/B
30,446,579	29,628,518	818,061	102.8%

(2) 収益的収入及び支出

(単位:千円)

	令和7年度 A	令和6年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
事業収益	20,958,732	17,877,204	3,081,528	117.2%
営 業 収 益	19,517,462	16,042,166	3,475,296	121.7%
営 業 外 収 益	1,431,911	1,411,250	20,661	101.5%
特 別 利 益	9,359	423,788	△ 414,429	2.2%
事業費	18,577,090	17,183,258	1,393,832	108.1%
営 業 費 用	17,380,947	16,138,340	1,242,607	107.7%
営 業 外 費 用	1,029,937	676,983	352,954	152.1%
特 別 損 失	161,206	362,935	△ 201,729	44.4%
予 備 費	5,000	5,000	—	100.0%
差 引	2,381,642	693,946	1,687,696	343.2%
純損益(税抜)	(1,723,436)	(△47,915)	(1,771,351)	—

(3) 資本的収入及び支出

(単位:千円)

	令和7年度 A	令和6年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
資本的収入	4,923,104	5,373,117	△ 450,013	91.6%
企 業 債	3,479,000	4,617,000	△ 1,138,000	75.4%
国 庫 補 助 金	451,089	214,251	236,838	210.5%
出 資 金	168,000	286,000	△ 118,000	58.7%
固定資産売却代金	1	1	—	100.0%
消火栓設置負担金	76,764	71,865	4,899	106.8%
補 償 金	748,250	184,000	564,250	406.7%
資本的支出	11,869,489	12,445,260	△ 575,771	95.4%
建 設 改 良 費	8,435,517	9,006,009	△ 570,492	93.7%
企 業 債 償 還 金	3,403,692	3,406,513	△ 2,821	99.9%
国庫補助金返還金	30,280	32,738	△ 2,458	92.5%
差 引	△6,946,385	△7,072,143	125,758	98.2%

資本的収支不足額 6,946,385 千円は、

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ① 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 639,596 千円 |
| ② 当年度損益勘定留保資金 | 5,910,265 千円 |
| ③ 建設改良積立金 | 396,524 千円 で補填する。 |

3 主な事業計画

(単位:千円)

目指す方向性	事業・取組名	事業費	取組内容
安全	水質管理体制の充実	123,499	○ 水質管理体制の強化 123,499 ・水質検査機器の適切な維持管理 ・水質検査機器の計画的更新及び整備 ・水道水質の常時監視
強靱	浄配水施設の計画的更新・耐震化	202,563	○ 巻浄水場施設整備事業(4カ年継続事業) 6,600 ・送水流量計室築造工事 ・自家発電設備更新工事 ○ 竹尾配水場施設整備事業(4カ年継続事業) 5,500 ・構内水管更新工事 ○ 浄配水施設の更新及び整備 190,463 ・監視カメラ更新工事(信濃川浄水場) 他
	管路施設の計画的更新・耐震化	5,228,520	○ 基幹管路更新事業 3,005,200 ・配水幹線の更新事業 ($\phi 75 \sim \phi 900$ $L = 3,888$ m) ○ 配水支管更新事業 2,223,320 【老朽管更新】 ・更新周期を超えた老朽配水支管を計画的に更新 ($\phi 50 \sim \phi 200$ $L = 3,828$ m) 【重要施設向け配水管の耐震化】 行政機関1施設 医療機関1施設 ・災害拠点となる行政機関や医療機関への配水支管を優先的に耐震化 ($\phi 100 \sim \phi 200$ $L = 1,805$ m)
	安定取水の確保	101,541	○ 塩水遡上などの取水リスクへの対応 101,541 ・不断水仕切弁設置工事(阿賀野川浄水場) 他

(単位:千円)

目指す 方向性	事業・取組名	事業費	取組内容
持続	効果的で分かりやすい広報の実施	35,781	○ 広報活動の実施 ・広報紙「水先案内」の発行 ・お客さま参加型・体験型の広報活動の実施 35,781
	お客さまの意見・要望の把握	2,611	○ お客さまアンケート調査の実施 ○ 水道モニター制度の運用 2,224 387
	人材の確保と育成、専門性の強化	7,303	○ 各種研修等の実施 7,303
	浄水発生土有効利用の促進	134,154	○ 浄水汚泥(200Bq/kg以下)の有効利用 134,154
健全	デジタル技術の導入による効果的かつ効率的な事業運営の実現	297	○ スマートメーターの導入に向けた機能評価及び試行運用の実施 297